

盛岡	80	盛岡	90
二戸	80	戸田	80
宮古	60	関古	80
大船渡	50	大船渡	60
	10		70
盛岡	北東	宮古	北東
二戸	北東	大船渡	北東
一関	南東		
気盛	最高		
盛岡	23度		
二戸	21度		
宮古	25度		
大船渡	22度		
	25度		
あす			
盛岡	北東	宮古	北東
二戸	北東	大船渡	北東
	最高		
	19度		
	18度		
	20度		
	19度		
	20度		

使用する井戸水のカルキ臭が強く、飲用に適さない。陸前高田市内の4仮設住宅に20日、簡易型浄水器が設置された。盛岡西、陸前高田、大坂坂田西の3ロータリークラブが井戸の水質を市と調査して支援を決め、寄贈した。

広田小グラウンド、旧水

竹駒小で自治会長を務める熊谷省三さん(66)は「水は毎日の生活になくてはならない大切なもの。みんな臭いに困っていたので助かります」と喜んでいました。

陸前高田市の400世帯に設置した。

産高用地、長洞地区と竹駒小に建設された仮設住宅の400世帯に設置した。

仮設住宅に浄水器を寄贈

ロータリークラブ 陸前高田400世帯に



取り付け業者から浄水器の説明を受ける仮設住宅入居者＝陸前高田市

仮設400戸に浄水器

盛岡西ロータリー寄贈

盛岡西ロータリー

クラブ(長谷川修会長)

は20日、陸

前高田市内

の仮設住宅

400戸に

浄水器を寄

贈した。仮

設住宅で

は、井戸水

が臭いがあり飲料水と

して敬遠され、被災者



盛岡西ロータリークラブから寄贈された浄水器を使う仮設住宅に暮らす被災者

田高 前高 陸井 戸水 対策

した。

盛岡西ロータリー

クラブは井戸水を使っ

ている仮設住宅で、飲

料水として飲めず問題

となっていたという報

道を受け、陸前高田

ロータリークラブ(伊

東孝会長)と大阪吹

田西ロータリークラ

ブ(坂本勝彦会長)の協

力を得て、浄水器を

準備した。市の協

力を得て必要場所

を調べ、広田小、

旧広田水産高、長

洞地区、竹駒小な

どの仮設住宅400戸に設

置することを決

めた。竹駒小仮設

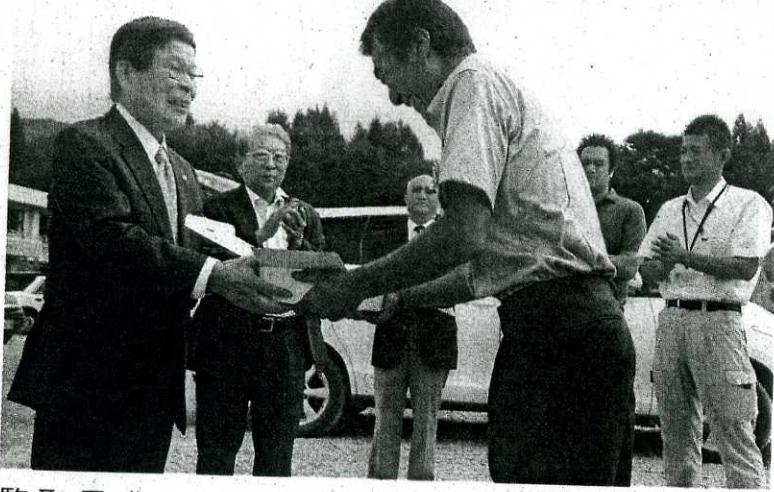
トボトルの水を飲んで
いた。浄水器を付けて
もらい、味が改善した。
とてもありがたい」と
感謝。磐井律子さん
(67)は「水は重くてた
くさん買うことは大変
だった。とても良かった」と喜んだ。

RCが浄水器400個贈る

井戸水使用の仮設住宅へ

陸前高田

井戸水をくみ上げて使用している仮設住宅の入居者から、「水が臭い」「おかしい味がする」といった声が上がっていた陸前高田市竹駒町と広田町の住宅団地合わせて400戸に、盛岡西ロータリークラブ（長谷川修会長）などが20日、浄水器の贈呈・設置を行った。同日は竹駒小グラウンドで贈呈式が行われ、これまで飲料水購入を余儀なくされていた入居者代表らが口々に感謝の言葉を述べた。



上下水道施設の復旧遅延により、井戸を掘り、水を殺菌処理して使用している仮設住宅では、異臭や異味が問題になっていた。沸かして使用しても臭いが消えないといい、飲料や調理に使う水はペットボトルで購入しなければならぬ住民も多かった。

今回の支援は、国際ロータリー会長のカルヤン・バネルジ氏（イ盛岡西RCの長谷川会長）から浄水器を受け取る住民の代表者（竹駒小グラウンド）

ンド・パピロータリークラブ）が「世界平和のために奉仕活動」を継続することが大事」と本年度のメッセージを伝える中、「きれいで安全な水の提供」を目標の一つに掲げていることから実施された。

プロジェクトには陸前高田ロータリークラブ（伊東孝会長）と大阪吹田西ロータリークラブ（坂本勝彦会長）が協力。主管である盛岡西クラブの長谷川会長らは今月、同市の仮設住宅を訪れて聞き取り調査し、浄水器のテスト使用も行った。寄贈を受けたのは、同小グラウンド仮設住宅（96戸）と、広田町の旧水産高校用地仮設住宅（112戸）の2カ所。贈られたのは繊維状活性炭による浄水器で、購入価格約1200万円。この日はすぐに設置作業も行われた。維持管理は1年間、盛岡西と専門業者が担当する。同小グラウンド仮設住宅の熊谷省二自治会長（66）は「ペットボトルの水が狭い家を占領していた。これでおいしい水が飲める」と感謝を示し、同住宅に住む磐井律子さん（67）も「味噌汁を作るのにも買ってきた水を使っていた。生活環境が一つひとつ改善されていくのがうれしく、本当にありがたい」と喜んでいました。

椿園で復興祈念植樹

伊東市社協が企画 両市の高校生らが作業

大船渡市

大船渡市末崎町大浜地内の碁石椿園で20日、静岡県の伊東市社協が企画した復興祈念植樹が行われた。参加した両市の中学生らは震災からの復興を願いながら、ツバキを大切に植えている。

今回の植樹は「大船渡市とのつながりを意識できる形あるものを残そう」と企画された。この日、伊東市からは社協の村上雅啓常務理事のほか、ボランティア

大船渡市と同くツバキにしている。この縁から震災後、社協が派遣したボランティアスタッフが何度か大船渡市へ支援に訪れてい